

---

## 参加者の声

---

### 大人になってからでも伸ばせる！「シン読解力」

半田醸芳小学校PTA会長 阿部 康宏

今回の記念講演は、目黒朋子先生による、RS(リーディングスキル)という読解力の能力が、子どもたちの可能性を大きく左右するという内容の講演でした。

「シン読解力」は、従来の国語科が目指してきた読解力とは異なる概念であり、学力に直結するものであること、大人になってからでも伸ばすことができる能力であること、県内の相馬市や会津高田町で取り入れ、児童たちの学力が向上していること、などの興味深い講演内容でした。

講演の中で紹介のあった「読解カトレーニング」という書籍を早速購入したので、子どもと一緒に読んでみたいと思います。桑折町の小学校でも、取り入れていただきたいと思う内容であり、多くの子育て世代の方に聞いていただきたいかった講演でした。

---

### 『捨てるところがありません』の落とし穴

睦合小学校長 阿部 裕好

サトウキビからは、砂糖が作られるだけでなく、そのしぼった後のしぼりかすが、バガスと呼ばれ、燃料や肥料などにも利用され、捨てるところがありません。

小学校の社会科の教科書にあるこの文章の『捨てるところがありません』という部分を、さとうきびを捨てる場所がないと読み取り、つまり子どもたちがいるとのことでした。

講演を聞いて、読解力の向上の必要性を感じるとともに、公教育の最重要課題は中学校を卒業するまでに中学校の教科書レベルの文章を読めるようにすることである、というお話が大変印象に残りました。

親子で教科書を一緒に読んで、「この」、「それ」は何を表しているのかな、「など」とあるけど、例えばどんなものがあるかな、と読解する機会をもつことが重要だと感じました。

---

### 子どもに必要な『読み解く力』の育成

伊達崎小学校PTA会長 安彦 隆生

先日催された桑折町青少年育成町民会議大会内にて、目黒朋子先生の講演を拝聴し、読解力の大切さを痛感すると共に、現代日本の子どもたちが「言葉の省略」による多大な悪影響を受けてしまい、文脈から前後関係を読み取り、問題に対する回答を導き出す力が低下している等大変な状況に陥っていることに驚きました。我々大人は基礎的な国語力を身につけた上で、助詞等を省略した物言いをしていますが、それが発達途上の子どもたちへ知らず知らずに影響を与えてしまうことを今後は自覚しながら生活していこうと省みることができました。

また、情報が溢れ、情報の真偽を自分で見極めなければならない現代で、生成AIなるものが身近に登場し、社会生活に浸透しつつあります。既にネット情報に触れやすい環境にいることから、子どもたちにもその利用方法や情報の分析能力を小さいころから身につけさせなければ、今後の人間関係や情報処理に支障が出かねない危機感を知ることが出来た講演会でした。

---